

芸術

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	美術 I	単位数	2 単位
学 科	農業科	学 年	1 年
教科書	高校生の美術 1 (日本文教出版)	副教材	なし

学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を身に付ける。
------	--

評価		
評価の観点		評価方法
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	・授業態度 ・作品 ・評価プリント
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	・授業態度 ・作品 ・評価プリント
主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。	・授業態度 ・作品 ・評価プリント

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学期	鑑賞 オリエンテーション 「美術とは何か」 表現・鑑賞 絵画 「グラデーション」「手のデッサン」 表現・鑑賞 デザイン「デザインの世界」 表現・鑑賞デザイン「メッセージを伝えるポスターをつくらう」(人権ポスターの制作)	・小・中学校での図画工作・美術の学習を振り返り、自分の心の中を見つめたり、気付かなかった自分の考えに気付いたりして、自分の美術を見つけていく美術 1 の学習のイメージを理解する。 ・ものを捉えるための基本的な技能である鉛筆による明暗表現やデッサンにより、5段階の「グラデーション」と「手のデッサン」を通じて、もの見方や捉え方、立体や質感の表現を学ぶ。 ・「飾る」「伝える」「使う」「環境」などの幅広いデザインの役割を理解し、デザインとは何か、デザインするとき大切なものは何かを考える。 ・伝えたいメッセージや伝える場面などを基に、形や色彩、イラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞するとともに、イラストや文字の形や色、構成などの効果を考えて、人権ポスターを制作する。
2 学期	表現・鑑賞 デザイン「暮らしの中で使うデザイン」 「フォトフレームの製作」 表現・鑑賞 デザイン「暮らしの中で使うデザイン」 「アクセサリ(キーホルダー)の製作」 鑑賞 絵画「日本の美術」日本の美術のよさや特質を味わおう	・使う人や場面、機能や用途、美しさなどを考えて、暮らしの中にあるものをデザインする。自らの趣味や好きなものをイメージして、フォトフレームの装飾についてデザインする。 ・自らが使う場面を考えて、機能的で自分の好みの形態をイメージして、デザインを考える。実際に材料を加工してキーホルダーを製作する。 ・屏風や掛軸、絵巻などのよさや美しさ、日本の美術の表現の特質、美術文化の継承と創造について考え、日本の美術の独自の美意識や自然観、政策の知識などを理解し、金運や空間、構図、色彩などの効果、全体のイメージや作風、洋式など捉えて鑑賞する。
3 学期	表現・鑑賞 絵画 「印象派絵画の模写」 鑑賞 オリエンテーション 「これからの私と美術」	・自分が好きな印象派の作家を選び、その作家の作品を鑑賞して、色彩やタッチ、構図などの表現方法の特徴を理解する。その作風を再現することによって印象派が光と影の移ろいなど、戸外の明るい色彩を捉えようとしたことを理解し、自らの表現に生かす。 ・生活と美術の関わりを目に向け、これからの生活の中で、美術を通して学んだことをどのように生かすことができるのかを考えるとともに、「これからの美術と私」について1年間の学びとともに振り返る。

その他	
-----	--